



ここにいるから Vol.11

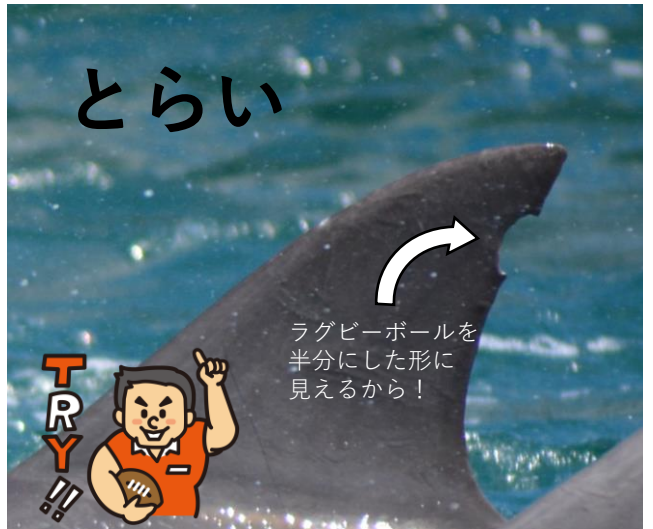
発行 2021.5.1
発行者 天草イルカラボ
Mail info@dolphin-lab.com



れいわ

左 イルカの基礎知識 個体識別①
イルカを「頭ごとに見分けることを、専門用語で「個体識別」と言います。識別に使われるのは、主にせびれ、体の模様、尾びれ、胸びれなどです。研究が進むと顎の形状などでも見分けがつかます。生まれたてのイルカは、ほとんど見分けがつかないほど標準（という表現が適切ではないかもです）のフォルムをしています。生後にケガや病気、ケンカなどなんらかの理由でボディの各所に生涯残るような跡、がでます。それが個体識別の目印、なっています。ヒトも、大きなケガや病気などで、体にその痕跡が残ることがありますね。それと同じです。

の写真は、個体識別第1号としてネーミングをしたイルカで「れいわ」と命名しました。



とらい

右

のイルカは「とらい」ラグビーワールドカップが日本で

開催され大変盛り上がりつつあるタイミンがだったので、このネーミングにしました。イルカラボでは、現在、数頭のイルカに名前をつけています。ホームページで公開していますので、ぜひチェックしてみてください！

では、なぜ個体識別をするのでしょうか。それは、イルカの生態研究における基礎となるためです。野生のイルカの寿命は30〜40年と言われています。識別をすることで、海域の寿命やイルカの生存率、死亡率、全体数の推移、家族構成や環境要因との因果関係、移動（移住）などあらゆる情報がわかってきます。これらの基本情報を収集するだけでも長期の調査が必要となります。そして、それがあってようやく、イルカの奥深い研究が進化していくこととなります。

イルカを見たい あなたへ♪

ぜひ通詞島（つうじしま）に行こう♪天草空港から車で20分程度で絶景の島に到着。

運が良ければ、島から肉眼でイルカを見ることもできるし、島内の歴史資料館やユメールで双眼鏡を貸してもらうことができるよ。



ひろみコラム

私は、少なくとも20頭くらいは見分けがつかない〜とくに1頭目の「れいわ」ちゃんはとても思い入れがあります。皆さんもぜひ、イルカの識別をして、お気に入りイルカちゃんを探してみてくださいね。

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ
amakusa_dolphin

検索



つうじま

